



Weekly Report

2006~2007年度
国際ロータリーのテーマ
率先しよう
2006~2007年度
ウィリアム・ビル・ボイド

創立:1980年(昭和55年)1月10日
会長:遠山 義郎
幹事:天野 正明
会報委員長:稲垣 豊
例会日:毎週木曜日 PM12:30~
会場:ヒルトン名古屋
事務局:460-0008
名古屋市中区栄1丁目33
ヒルトン名古屋910号
TEL:052-211-3803
FAX:052-211-2623
MAIL:2760nagoya@mizuho.rc.jp
URL:http://www.mizuho.rc.jp/

第1320回例会

ロータリー親睦活動月間

2007年5月31日(木) 晴 第42回

司会:近藤茂弘会場委員
斉唱:「それこそロータリー」
ゲスト:NPO法人子どもセンター「パオ」運営委員・弁護士
安藤 雅範さん
水野 忠さん
ビジター:名古屋RC
名古屋和合RC 榊原 暢宏さん

会長挨拶

遠山義郎会長

着物のある生活と言う挨拶をさせて頂きます。日本女性の着物姿はいつ見ても魅力があります。日本の着物市場は、1981年の1兆8,000億円をピークに縮小を続けて、現在では5,000億円程度、三分の一弱まで縮小したと言われてます。業界の危機的な状況に特效薬はないようですが、最近では折からの「和」のブームに乗って着物をめぐる新人が出現しているそうです。



ご存知のとおり、日本の伝統衣装である着物には、産地や生地の作られ方、模様の配置などによって「種類と格」が厳格にあります。これから夏に向けて浴衣のシーズンです。夏の薄物は単衣(ひとえ)に仕立てるなど、季節に合わせた装いという決まりもあるそうです。着物が日常着だった時代、こうした「着物ルール」は、親から子へ、子から孫へと当たり前のように受け継がれていましたが、いつのまにか、着物が「ハレ」の舞台衣装となった現代におきまして、着物を取り巻く決まりごとは、厄介な問題になっているようです。着物の愛好家はいくつかのカテゴリーに分けられるといひます。①歌舞伎などを見たあとで食事を楽しむマダム的な銀座族②芸事が盛んで、いきな庶民的な着こなしの浅草族、そして最近目新しいのが③クリエイター達が多く住む表参道、青山周辺で、リサイクルも、お仕立ても自由に愉しんでいる青山族だそうです。代官山でデザイン関係会社に勤めるA子さん34歳が、最近、自分が日本人だったんだと思う体験をしたそうです。ある日、実家に戻ると、母親が桐ダンスを開けていたそうです。そのダンスには全く興味がなかったようでしたが、気になって全部を見せてもらったら、宝の山に見えたそうです。上機嫌の娘をみて、ダンスの部屋とっている奥の六畳間に彼女を誘いますと、そこにはありとあらゆる祖母の着物がぎっしり。それが縁で彼女は「和」の道をひた走りだしたそうです。私は、最近、着物は勿論のこと、老いも若きも、日常生活から昔のよき日本文化が消えて行くようで、心配でなりません。身近でいえば名妓連もそうですが、尾張名古屋の文化を残す方法を考える必要があると思います。

幹事報告

天野正明幹事

- ・次週6/7(木)は第12回理事会です。13時35分から9階「ことぶきの間」で行います。
- ・6/7(木)ホテル観賞会です。19時集合、19時30分開始です。場所は熱田神宮南神池です。最後の行事となります。

出席報告

宮崎信次出席委員

会員73名 出席53名 (出席計算人数51名)

出席率84.31% 5月24日は補填により 90.2%

臨時例会変更のお知らせ

名古屋西		6/21(木)	6/28(木)※
名古屋北	6/15(金)		
名古屋みなと			6/29(金)※
名古屋東南	6/13(水)		6/27(水)
名古屋中	6/11(月)※		6/25(月)
名古屋和合			
名古屋名東		6/19(火)	
名古屋名北		6/20(水)※	6/27(水)
名古屋千種		6/19(火)※	6/26(火)
名古屋大須		6/21(木)	6/28(木)※
名古屋栄			6/25(月)◆
名古屋名南		6/19(火)※	
名古屋名駅			6/27(水)
名古屋昭和			6/25(月)
名古屋西南			6/28(木)
名古屋錦			6/26(火)※
名古屋空港			6/25(月)
名古屋葵	6/14(木)※		
名古屋清須		6/19(火)	
尾張中央		6/20(水)	
豊山一城北			6/26(火)

(注) ※は休会・その他理由につきビジター受付はありません。
◆はサイン受付時間が17:00~18:00となります。

ニコボックス

宮崎信次ニコボックス委員

- ・5月4日は結婚記念日でした。 **市岡 正蔵さん**
- ・5月29日結婚記念日でした。 **長瀬憲八郎さん**
- ・千種法人会会長に就任しました。納税意識向上の為がんばります。 **本多 清治さん**
- ・5月29日初孫が誕生しました。 **大島 浩嗣さん**
- ・欠席が続きました。今日は中部アマチュア3日目競技にこれからいきます。 **泉 憲一さん**
- ・ホームクラブ欠席が続きました。申し訳ございません。 **小串 和夫さん**
- ・大川さんにお世話になりました。 **内田 久利さん**
- ・市岡さんに本日は少ないので頼まりました。 **西本 哲さん**
- ・宗宮さん色々ありがとうございました。蛭はこの1週間のうち最高が七匹でした。観賞会にたくさん飛びますように。 **松井 善則さん**

委員会・同好会報告

環境保全委員会：馬場將嘉委員長

6/7(木)7:00から蛍観賞会を行います。案内には会員の方のみのご案内になっておりますが、ご家族、お知り合いなどお誘い合わせの上ご来場ください。蛍の観賞会は瑞穂RCでは本年が最後になると思いますので、盛大に行いたいと思います。

野球同好会：馬場將嘉さん

高村さんのお骨折りで大同のグラウンドをお借りしていただいたのですが、出席者数が集まらず中止とさせていただきます。6/16(土)の本大会は名古屋ドームでございますので、個々に練習をしておいで下さい。

R情報委員会：守谷巖樹委員長

本年度最後のロータリーかと思えます。今月はロータリー親睦活動月間となっております。私は次期S.A.Aに任命されております。

卓話 NPO法人子どもセンター「パオ」運営委員・弁護士 安藤 雅範さん

「子どもを取り巻く100人の目」

みなさんこんにちは。今日は貴重な機会を与えていただき本当にありがとうございます。

今日は「子どもたちを取り巻く100人の目～子どもたちが必要としているもの～」です。まず、子どもを取り巻く状況ですが、最近4/26の新聞に「えらくなりたいたい」という日本の高校生は8%というだという記事がありました。私にとって非常に衝撃的な記事でした。これについて2つの事を申し上げます。1つは、8%しかいないという希望を見失っている子どもたちに、歳をとっていくことは楽しくて幸せなことだと、口だけでなく、行動で伝えていただきたいということです。ぜひ皆様方のような影響力のある方々に実践いただきたいです。私は普段弁護士をしていますが、特に女の子の意識は危機的な状況です。歳をとっていくことは失っていくだけで、下り坂に向かっていくだけと思ってる女の子が非常に多いです。20歳が頂点でそこから下るだけと思っている子が多いです。実際に化粧品会社もそのように販売しているように私には見えます。18歳の女の子が「もう私若くないから。先生は男だからいいよ。」と言いました。別の女の子は「30歳になったら死にたい」と言う子もいました。男も女も異性に認められるというのは非常に大きなことです。女性にとっては男性に認められるというのは大きな問題ですので、ぜひ男性の方に若くて美しい女性だけでなく時には同年代の方、年上の方も愛していただきたいと思えます。次に教育再生会議の委員になられたヤンキー先生こと義家弘介さんという方が、こんな話をしていました。村上龍の小説の一節「この国には何もかもある。でも希望だけが無い。」という文章を読んで、「本当にそうだ。これからどこに未来があるのか。」と思ったそうです。希望がないのに、「夢を持って、大志を抱け」と言われて



できるでしょうか。大人になったらいいことがない、お先真っ暗と思っていたら、頑張るのはバカとしか言いようがないでしょう。だからこそみなさんにお願いしたいです。生活・趣味をどんどん楽しんでいただいて、歳をとってもいいことがある、歳をとるのは幸せだと何度も伝えていただきたいです。例えば仕事のやりがい、色んな経験ができた、考えを深めることができた、人のために奉仕する幸せがあった、など優等生的な答えでもいいですし、素敵な人を愛することができた、おいしいものをお腹いっぱい食べられた、どんなことでもいいと思います。最近に始まったことではないですが、「幸せだ」と堂々と言うひとがまれそうな空気が日本にはあるのかなと思います。今の子どもたちは物質的には恵まれています。それが故に精神的には非常に悪い環境にとも言えると思います。頑張っても頑張らなくても物はある。頑張らなければ手に入らない物を頑張る手に入れる喜びを感じる事ができない環境です。高度成長期には頑張れば、日本全体が幸せに、いい国にしていこうという気持ちになれたものが、今は良くて低成長、せいぜい現状維持で落ちないようにするにはどうしようという状況なので、自分が頑張ったところで国が良くなるという効果を実感でき

ません。昔の子どもはおいしいものをお腹いっぱい食べることさえ辛い環境だったでしょうが、頑張ることで少しずつ自分が豊になり、国も豊に成長してみんなが幸せになっていくことを実感することができました。本能も満足させて、心も満足させることができました。精神的には恵まれた環境だったと言えます。

もう1つは、本当はえらくなりたいと思っている子が8%よりも少しいるのではということです。本当はなりたいたいと思っているのなら、ありのまま言えるようになれたらいいのに、ということです。今の子の言葉は「あれ、いいね」というのを「あれ、よくない?」のように否定の疑問で聞きます。疑問に思っていたら、「かわいくないよ」と他の子に言われたときに上手くごまかせるのだと聞きました。人に否定されることを極度に恐れている一例だと思いました。他にも衝突を回避するために、「ていうか」という言葉を使うそうです。最近子どもたちの「場の空気よめよ」という言葉も気になります。子どもなんだから周りのことばかり気にしなくてもいいのではと思います。ある子は家に帰って1人になるとホッとすると書いていました。のんびりが好きな子はマイペースに、自分の意見があるならありのまま言えるようになればいいなと思います。

これらが今の子どもたちを取り巻いている暗い影です。これらは多くの子どもたちに当てはまる広く浅い青少年育成問題です。それに対して狭くて深い問題があります。大人になるのは幸せだよと伝えるだけでは絶対に解決しない問題があります。そこで「パオ」を紹介させていただきたいと思えます。

「パオ」とはモンゴルの移動式の家という意味です。モンゴルの吹き荒れる風から人々を守るように、子どもたちを守り癒してあげたいという気持ちを込めてつけた名前です。行き場のない子どもたち(典型的には虐待を受けた)のための場所を作りたい。そういう子どもたちは例外なく精神的にひどく傷ついています。身体的・性的な虐待を受けている場合には肉体的にも傷ついています。肉体的な傷は病院で治りますが、精神的な傷は自傷行為(リストカットなど)に走ったり、さらなる被害に子どもを向かわせてしまう可能性があります。そこで、子どもが緊急で泊まることのできる場所には、精神的不安定な子どもにも対応できる研修を受けた職員が必要です。そういった子どもは一般的に夜不安定になるそうで、職員は24時間体制で必要になります。緊急に泊まる場所として児童相談所の一時保護所がありますが、ここは18歳未満しか使用できず、収容人数が少ないのでパオにシェルターを作りたいと思っています。昨年の12月に愛知県知事から認証を受けて、パオを特定非営利活動法人として設立できました。職員になる候補者の研修を行ったり、愛知県の某所にシェルターとなる家も確保できました。まずは女子用のシェルターを4月に開設して、6月から開始します。しかし、運営資金が足りません。ぜひ皆さんの力をお貸しいただき、子どもが自分の周りには優しい100人の目があると実感できるようにご協力いただけないでしょうか。みんなで力を合わせて幸せになろう、もう一度そんないい雰囲気のある日本にするためにぜひ皆様のご協力をお願いしたいと思います。そしてこれを周りの方に広めていただけたらこの上ない喜びです。

最後にお願ひです。今使っていない家、当分使う予定のない家をお持ちの方がいましたら、無料でパオに使わせていただけないでしょうか。ぜひご連絡ください。2つ目の願ひは、平日の夜・土日に無料で20人～30人が入れる会議室を貸していただけないでしょうか。3つ目の願ひは、お仕事の中で「パオ」についてご支援いただけないでしょうか。今、丸の内にある「レターフレンズ」という洋菓子屋さんでパオの図柄を使ったパッケージでケーキやクッキーを販売していただいています。広報をしていただくとともに、売上の一部を寄付していただいています。もし何かいい案がありましたらご紹介ください。賛助会員・寄付としてのご支援もお願いいたします。

今週卓話

6月7日(木)

会員卓話：宇佐美貞夫さん
テ－マ：「私の趣味」

次週卓話

6月14日(木)

会員卓話：遠山義郎さん
テ－マ：「民衆のために生きた土木技術者たち」